

令和2年3月23日

都道府県高等学校野球連盟

理事長、専務理事、代表理事 殿

公益財団法人
日本高等学校野球連盟

用具の使用制限について

平素より高校野球発展にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染が拡がる中で、各都道府県連盟におかれましては、春季大会などの対応について、ご苦勞をいただいていることかとお察しします。

感染収束が見通せない中ではありますが、今後も都道府県連盟の皆様と情報共有をしながら、この難局を乗り越えていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひします。

さて、ご連絡が大変遅くなり誠に申し訳ありません。先月開催しました都道府県連盟理事長、専務理事会議において、用具の使用制限（スパイク、トレーニングシューズ）についてお問い合わせをいただいた件について、以下の通り見解を記しますので、内容ご確認いただき、加盟校への周知徹底お願い致します。

【部 員】

＜スパイク＞

用具の使用制限の通り、甲被カラーはホワイト、ブラックは混在可とし、2年間(2020年、2021年)の猶予期間とし、2022年シーズンインまでにチーム内統一あるいは混在を判断し、2022年以降運用をする。

＜トレーニングシューズ＞

従来通りチーム内でホワイト、ブラック統一とする。

【指導者】

ホワイト、ブラックどちらでも可とする(スパイク、トレーニングシューズを含む)。

なお、部員同様に2020年、2021年の2年間は猶予期間とし、2022年シーズンインまでにチーム内(部員、指導者を含む)で統一するかを判断する。

※用具の使用制限には、部員、指導者の衣装を分けて規定はしていません。

したがって、各連盟で運用上の注意事項などを作成し加盟校に周知をしていただいているのが実態かと思ひます。

指導者は試合中もトレーニングシューズを着用しているのが多数ですので、部員のスパイクと同様に2020年、2021年の2年間はホワイト、ブラックどちらでも可とします。

以 上